

助成番号：515

招へい目的：「韓国牛におけるアルベンダゾールの代謝と薬物動態」
についての特別講演，学術情報交換及び今後の共同研究
についての打ち合わせの実施

外国人研究者名：尹 孝仁

国 籍：大韓民国

所属機関・職名：忠南大学校 獣医科大学・教授

外国人招へい申請者：西村 昌数（獣医学科家畜薬理学教授）

1. 目 的

帯広畜産大学と忠南大学との学術交流協定に基づき「韓国牛におけるアルベンダゾールの代謝と薬物動態」についての特別講演，学術情報交換及び今後の共同研究についての打ち合わせの実施

2. 期 間

平成11年10月5日～10月9日

3. 場 所

帯広畜産大学

4. 内 容

本学家畜薬理学講座では1998年から，大韓民国忠南大学獣医科大学の尹 孝仁教授と協力して，家畜における抗生物質の利用と生産効率ならびに感染症抵抗性等に関する共同研究を手がけてきました。今回，帯広畜産大学後援会のご援助によりこの共同研究における韓国側の中心的な役割を担っている尹 孝仁教授を招へいいたしました。招へい期間中，同教授，同僚の全 茂炯教授，白幡 獣医学科長（家畜微生物学講座教授）および西村教授の4者で共同研究について打ち合わせならびに情報交換がもたれ，これまでの研究成果の確認と今後の研究の方向性について議論された。さらに尹 孝仁教授には，獣医学科談話会で「LC/MSを用いてヒラメに電氣的に噴霧投与したロキスロマイシンの筋組織における動態学的研究について」の講演をしていただき，本学の教官および学生に対し，水産資源の獣医学的保護は責務である今日，疾病予防や肥育効果などを期待して投与する抗生物質の魚類の体内における動態は未解明の分野であったが，本研究発表から我が国における水産資源の維持と保護に関して有益な情報が得られた。また，北海道の農畜産事情を理解していただくため，農林省北海道畜産試験場，ナイタイ高原牧場，北海道大学獣医学部などの農畜産関連教育・研究施設を視察していただきました。最後になりましたが，このような機会を与えて下さいました帯広畜産大学後援会に深謝いたしますとともに，尹および全 両教授の視察を快くお引き受け下さいました関係各位に深甚の謝意を申し上げます。